

平成25年5月31日（金）  
国土交通省 関東地方整備局  
国営昭和記念公園事務所

記者発表資料

**国営昭和記念公園、国営東京臨海広域防災公園**  
**平成25年度事業の概要について**

平成25年度における国営昭和記念公園及び国営東京臨海広域防災公園の事業概要をお知らせいたします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ  
神奈川建設記者会  
都庁記者クラブ  
立川市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

【全体】

副所長 吉田 武士

電話：042-524-1516

【各公園の事業概要について】

<国営昭和記念公園>

調査設計課長 富所 弘充

電話：042-524-1089

<国営東京臨海広域防災公園>

防災対策推進官 石田 武司

電話：03-3529-2171

# 国営昭和記念公園（東京都立川市・昭島市）

## 1. 公園概要

本公園は、昭和天皇御在位 50 年記念事業として設置された国営公園です。昭和 54 年から整備が進められ、昭和 58 年 10 月に開園しました。現在、計画面積 180ha のうち約 165ha が開園しており、平成 24 年度の年間入園者数は約 368 万人となっています。

## 2. 平成 25 年度実施計画

整備費：953 百万円（平成 24 年度当初：1,043 百万円）

維持管理費：762 百万円（平成 24 年度当初：815 百万円）

### 事業概要

○平成 25 年 3 月に策定した整備・管理運営プログラムに基づき、以下の事業に実施します。

- ・平成 25 年 8 月末頃に「こもれびの里」移築農家を全面オープンします。
- ・平成 26 年春に一部開園予定の「みどりの文化ゾーン」未開園区域の整備を進めます。
- ・安全・安心にご利用頂けるように、防災活動拠点の整備及び老朽化施設の改修等を行います。

○昭和 58 年の開園から 30 年を迎えるにあたり、開園記念日である 10 月 26 日（土）を無料入園日とし、また、10 月 26 日（土）・27 日（日）には開園 30 周年を記念したイベントを行います。（10 月 27 日（日）は無料入園ではありません）

## 3. 今年度の主なイベント

名 称	期 間
フラワーフェスティバル 2013	平成 25 年 3 月 23 日（土）～5 月 26 日（日）（実施済）
サマーフェスティバル	平成 25 年 7 月 13 日（土）～9 月 8 日（日）
立川まつり国営昭和記念公園花火大会	平成 25 年 7 月 27 日（土）
コスモスまつり	平成 25 年 9 月 14 日（土）～10 月 27 日（日）
第 90 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	平成 25 年 10 月 19 日（土）
紅葉まつり	平成 25 年 11 月 9 日（土）～11 月 24 日（日）
Winter Vista Illumination	平成 24 年 11 月 30 日（土）～12 月 25 日（水）
雪と花の早春フェスティバル	平成 26 年 1 月 18 日（土）～3 月 9 日（日）
フラワーフェスティバル 2014	平成 26 年 3 月下旬～5 月下旬

- ・イベントは予定であり、内容・期間は変更する場合があります。
- ・詳しくは各イベント前に HP 等でお知らせします。（<http://www.showakinenpark.go.jp/>）

## 4. 今年度の無料開園日

無料開園日	備 考
平成 25 年 4 月 14 日（日）	春の都市緑化推進運動（実施済）
平成 25 年 4 月 29 日（月・祝）	昭和の日（実施済）
平成 25 年 5 月 5 日（日・祝）	こどもの日 <sup>※1</sup> （実施済）
平成 25 年 7 月 27 日（土）	立川まつり国営昭和記念公園花火大会 <sup>※2</sup>
平成 25 年 9 月 16 日（月・祝）	敬老の日 <sup>※1</sup>
平成 25 年 10 月 6 日（日）	秋の都市緑化月間
平成 25 年 10 月 26 日（土）	秋の都市緑化月間、30 周年開園記念日

※1 5 月 5 日（こどもの日）は小・中学生の方、9 月 16 日（敬老の日）は 65 歳以上の方に限り入園無料になります。

※2 7 月 27 日（花火大会）は 18 時以降の入園者に限り入園無料になります。

## 5. 平成25年度の主な事業箇所

### 防災活動拠点整備

立川市・昭島市の広域避難場所として、防災活動拠点の整備を進めます。



### こもれびの里移築農家整備

こもれびの里は、昭和30年代の武蔵野の農村風景を再現するため、「昭和・武蔵野・農業」をテーマに、農業や年中行事など様々な体験を通じて、自然と暮らしの知恵を伝えていくエリアです。  
本年8月末頃に「こもれびの里」移築農家を全面オープンします。



こもれびの里 移築農家全景

### 花木園周辺園地整備

開園から30年を経過し樹木の成長により密な状態となっていることから、樹木の剪定などの園地整備を行います。

### みどりの文化ゾーン未開園区域整備

みどりの文化ゾーンと周辺市街地との回遊性を高めるため、みどりの文化ゾーン北側の未開園区域のうち、平成26年春に一部開園予定の「高松ロケット(仮称)」(新設)周辺の整備を進めます。

### その他

公園施設の耐震化、案内サインの改修、老朽化したライフラインの改修、大型遊具・休憩施設等の改修等を行います。

# 国営東京臨海広域防災公園（東京都江東区）

## 1. 公園概要

基幹的広域防災拠点有明の丘地区は、首都圏における大規模な地震災害等に際し、広域防災のヘッドクォーターとして機能する防災拠点です。事業化にあたり、わが国初の国営防災公園事業「国営東京臨海広域防災公園」として、都立公園と一体的に整備を行い、平成22年7月に開園しました。

平常時は、「防災体験学習施設 そなエリア東京」を中心に、防災に関する学習・訓練・情報発信などを行っております。

公園面積：6.7ha（都立公園部分とあわせて13.2ha）

主要施設：本部棟（「防災拠点施設（内閣府施設）」と「防災体験学習施設 そなエリア東京（公園施設）」の合築）、ヘリポート、多目的広場等

## 2. 平成25年度実施計画

維持管理費： 216百万円（平成24年度当初： 155百万円）

### 事業概要

- ・平成25年3月に策定した管理運営プログラムに基づき、防災体験学習施設を中心に来館者の方々に対して防災への関心を高め、体験学習や展示を通して災害に対処するための知識、技術などを習得できる魅力的な施設となるよう、施設の運営管理を実施します。
- ・公園の運営状況等についてモニタリング調査を行い、今後の公園運営に反映させます。

### （参考）公園の利用状況（平成24年度）

- 「防災体験学習施設 そなエリア東京」の入館者数

279,395人（平成23年度 190,675人）

※家族連れその他、国、都、県、市役所等の行政機関、消防署・消防団・自主防災組織、学校関連の関係者から、民間企業、外国人（ブラジル、チリ、中国、フィンランド、ハイチ、インドネシア、韓国、オランダ、ノルウェー、スウェーデンなど）の方など多岐にわたっております。

- 関係機関による訓練、講習会の実施

【訓練】10月7日 全国消防操法大会の開催

2年に一度、消防団員による消防操法訓練の全国No.1を決める大会の実施。

消防用機械器具の取扱い及び操作の基本について、技術を競う大会。

【講習会】年間を通して、災害・防災に係るボランティアによる講習会などに利用されました。

- イベントの会場利用

東京マラソンの関連イベント「東京大マラソン祭り」「東京マラソンファミリーラン」の会場として園地が利用されました。

# 園内施設

本公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したときに公園全体が広域的な指令機能を受け持つヘッドクォーター等となり、平常時には防災に関する学習・訓練・情報発信などの拠点として機能する基幹的な広域防災拠点であるとともに、人々の魅力的な憩いの場となるよう、東京湾臨海部の緑の拠点として臨海副都心におけるにぎわいと交流の空間を提供します。

## ②ヘリポート

本部要員、救護や傷病者、緊急物資の空輸など大型ヘリコプターの利用も可能な場外離着陸場です。



発災時運用イメージ (平成21年8月自衛隊統合訓練)

## ③エントランス広場

発災時には災害時医療支援体制の支援機能を発揮するスペースです。



災害時医療支援運用イメージ  
(平成20年9月東京都総合防災訓練、平成21年1月災害医療センター訓練)

## ④多目的広場・草地広場

発災時には、広域支援部隊・ボランティアなどが活動・統制所等として機能する場です。



広域支援部隊等展開イメージ  
(平成22年11月緊急消防援助隊訓練)

## ①本部棟

災害発生時には国と九都府市※の合同現地対策本部が設置され、平常時には防災に関する学習・情報発信の拠点となる体験学習施設等となる本公園の中心施設で鉄筋コンクリート造2階建て延べ床面積約9,500㎡。屋上や壁面の一部は緑化しています。

※:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市



現地対策本部運用イメージ  
(平成23年1月政府総合合同上訓練)



体験学習施設(1階)



## ②ヘリポート

## ③エントランス広場

## ④多目的広場・草地広場

平常時は、各種防災訓練や学習、来園者の憩いの場として利用されています。



エントランス広場からヘリポート、草地広場を望む



東京都・文京区合同総合防災訓練(平成24年9月)



東京マラソンファミリーラン(平成25年2月)